

令和4年度「人生記念樹配布事業の樹種見直しに関するアンケート」 集計結果の活用状況

アンケートテーマの担当部署が、アンケート結果をどのように受け止めたのか、事業にどのように活用しているのかなど、集計結果の活用状況をご紹介します。

1 アンケート結果の事業等への活用状況

横浜市では、昭和52年から人生記念樹配布事業を実施し、市民参加による緑の育成と推進を図ってきました。市民の皆様は緑により親しみを持っていただくきっかけとなる事業になるよう、住環境の多様化や樹木需要の移り変わりを踏まえ、配布する樹種の見直しを目的として、令和3年度に実施した、ヨコハマ e アンケートでのご意見を反映し、今回のアンケートを実施しました。

Q3の「選択項目の中で、あなたが【育ててみたいと思う】樹種について、4つまで回答してください。」の質問において、「チ ブルーベリー」45.7% (371人)、「カ オリーブ」36.1% (293人)、「オ キンモクセイ」33.6% (273人) の回答が多くありました。一方、「ケ アベリア」4.8% (39人)、「コ マホニアコンフューサ」4.3% (35人) については、非常に少ない回答になりました。この結果については、今後配布する樹種の見直し検討の際に参考とさせていただきます。

2 アンケートを実施した感想

Q4の「育ててみたいと思う樹種を選択するにあたり、あなたが特に重視した点は何ですか。」の質問において、「キ 実が食べられる」15.8% (122人) との回答よりも、「ア 知っている木か」26.7% (206人)、「イ 木のイメージ・エピソード」16.9% (130人) との回答の方が多くありました。

食用の実をつけるかなど、樹木を実用的に利用できるかどうかよりも、親しみや愛着のある木かどうか、申込をする際の重要なポイントであることを改めて知ることができました。

3 担当部署の e アンケートメンバーへのメッセージ

このたびは、アンケートにご協力いただきありがとうございました。

人生記念樹配布事業のほか、広く緑に関するご意見をいただくことができ、大変参考になりました。現在、対象となる記念樹は計20種類あり、配布の受付も随時行っていますので、折々の機会でご事業をご利用いただけますと幸いです。今後は、皆様が緑に親しむきっかけとなり、市内の緑や花による魅力の創出へのつながるよう、事業の見直しを図っていきます。

担当：環境創造局みどりアップ推進課

ヨコハマ e アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。